

提供日 2019/8/9

タイトル 「伝統芸能こどもサミット」を開催します

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

【静岡県文化プログラム】「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」関連企画

「伝統芸能こどもサミット」を開催します！

～地域の民俗芸能に関わる子どもたちが集まり、それぞれの活動と未来を共有します～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップと静岡県文化プログラム推進委員会は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する「静岡県文化プログラム」として、9/22に第2回「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」を開催します。このフェスティバルは、2020年に向けた文化プログラムとして、2019年～2020年の間に3回シリーズで開催。今回は、第2回目の関連企画として、各地域の伝統芸能に関わる子どもたちが集まり、日頃の活動紹介や芸能の魅力、未来への希望などを考えます。

2 概要

区分	内容
公演名	「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」関連企画 『伝統芸能こどもサミット』
日時	2019年8月23日（金）14:00～16:00（予定）
会場	グランシップ 11階会議ホール・風（静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号）
内容	<ul style="list-style-type: none">・あいさつ、参加者の紹介・掛川市出身の能楽師長谷川晴彦氏による能楽のお稽古●分科会（5グループに分かれて、芸能に触れたきっかけ、楽しいこと、大変なこと、これからのことなどを話し合う）●全体会議（各グループで策定したスローガンの発表）・記念撮影
参加団体 （予定）	<p>田京人形三番叟（伊豆の国市韮山／小学生） 慶長年間400年以上にわたり広瀬神社の例大祭で、神事能として奉納されている。五穀豊穡や子孫繁栄を願い、親から子へ受け継がれている。小学生の子どもたちも稽古に励み黒木尉などを担っている。</p> <p>島田市立川根中学校（島田市川根／中学生） 島田市川根に伝わる笹間神楽を総合学習の時間を通して伝承、保存に取り組んでいる。</p> <p>静岡県立駿河総合高等学校 和太鼓部（静岡市／高校生） 「音楽としての和太鼓」として活動し、年間を通じて積極的な公演活動を行っている。</p> <p>獅子木遣り保存会（焼津市／小～高校生） 焼津神社大祭の神輿渡御の一つとして行われ、2頭の獅子から延びる獅子幕を手古舞姿の少女たちが持ち、数種類の木遣り歌を歌いながら歩く。参加する子どもたちが成長につれて下級生に教えていく方法で伝承がされている。</p> <p>獅子舞かんからまち保存会（掛川市／小学生） 3年に1度行われる掛川大祭の三大余興の一つとして、行列と3頭の獅子からなる芸能。掛川市瓦町の人々が保存会となり、子どもたちは囃子や行列の花笠として活躍している。</p> <p>遠州横須賀三社祭礼囃子保存会（掛川市／小学生・高校生） 三熊野神社の例大祭の御神幸に供養する山車の囃子として受け継がれ、特に子どもたちへの継承に力を入れている。子どもたちは年齢に合わせた指導のもと、囃子や舞を担っている。</p> <p>懐山のおくない（浜松市天竜区／小学生・中学生） 泰蔵院で毎年1月3日に行われる。その年の安全や五穀豊穡、子孫繁栄など祈る田遊び、神楽、猿楽などの歌舞が演じられ、子どもたちが担当する演目もある。</p>

<p>参加団体 (予定)</p>	<p>横尾歌舞伎保存会 (浜松市北区／小学生・中学生) 役者、義太夫、三味線弾きをはじめ、舞台、大道具や小道具等に至るまで、すべて地域の人々の手でまかなわれていて、質の高い技を若者に引き継ぐため、小学生が参加する横尾歌舞伎少年団や、小中学生によって構成される少年少女三味線教室でプロの師匠を招いたり、地域の年長者が指導したりしている。</p> <p>川合花の舞 (浜松市天竜区／小学生・中学生) 八坂神社境内で行われる湯立神楽で、夕方から深夜にかけて行われている。「扇の舞」や「八千代の舞」、「花の舞」は子どもの舞で、地元のこどもたちが担い手となっている。</p> <p>静岡県立遠江総合高等学校 郷土芸能部 (森町／高校生) 森町天宮に伝わる天宮神社十二段舞楽の継承を目的に活動。地域の保存会や卒業生の指導のもと、少人数に合わせて舞をアレンジするなど工夫を重ねながら地道に活動を行っている。</p> <p>浄るりシアター (大阪府豊能郡能勢町／小学生・中学生) 大阪府能勢町に古くから伝わる「能勢の浄瑠璃」は、200年以上にわたり地域に根付き、今でも約200名の語り手が存在し継承されている。太夫・三味線・人形遣い・囃子・それぞれの部門のこども浄瑠璃があり、年間を通して行われるワークショップを受けながら、自主練習、依頼公演にと活動している。</p>
<p>能稽古 講師</p>	<p>長谷川晴彦 (観世流能楽師) シテ方観世流能楽師・重要無形文化財総合認定(能楽)保持者。観世流準職分、能楽協会会員、公益財団法人梅若研究会評議員。昭和44年掛川市生まれ。掛川市立掛川第二小学校、掛川市立掛川西中学校、静岡県立掛川西高等学校卒業後、上京。日本大学在学中より三世梅若万三郎師より、仕舞・謡の指導を受け、昭和63年に観世流研修生となり、平成8年に観世流準職分認定を受ける。翌年に国立能楽堂にて独立披露能を主催。以来、東京、静岡を中心とした全国各地ならびに海外13ヶ国での能公演に出演するほか、各地での能楽普及活動に努める。</p>
<p>本公演 について</p>	<p>第2回「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」 9月22日(日) 14:00～ グランシップ 中ホール・大地</p> <p>様々な工夫と努力によって芸能を次世代に受け継ぎながら地域振興に取り組む芸能団体が集結。舞台上で繰り広げられる芸能の実演に加え、その成功事例の周辺環境にも迫ります。</p> <p>出演：笹間神楽保存会(島田市)、掛川三社祭礼囃子保存会(掛川市) 掛川かんからまち保存会(掛川市)、静岡県立駿河総合高等学校 和太鼓部(静岡市)、富士宮囃子保存会(富士宮市)、長谷川晴彦(観世流能楽師)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>司会：久保ひとみ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コメンテーター：岩下尚史</p> </div> </div>
<p>主催</p>	<p>公益財団法人静岡県文化財団、静岡県文化プログラム推進委員会、静岡県</p>

3 「静岡県文化プログラム」について

オリンピック憲章には、「オリimpiズムは、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するもの」と謳われ、開催都市が「文化プログラム」を開催するように定められています。2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、開催都市ロンドンだけでなく、イギリス全土で約11万7000件の文化プログラムが行われ、大きな成果を上げたと言われています。2020年の東京大会においても、日本全国で「文化プログラム」が実施されることになっており、静岡県では、県内のさまざまな文化資源を生かしたプログラムが各地で展開されるよう、地域の取り組みを促進し、2020年以降の静岡県の芸術・文化振興に活用可能な仕組み、人材の育成を行う契機として捉えます。

4 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：(公財)静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当：渡邊・河合)